



令和8年度採用（令和7年度実施）さいたま市立学校教員採用選考試験  
第2次試験 中学校・高等学校・中等教育学校教員 美術  
個人面接、教科等の専門性に係る質問例

1 教職全般に係る質問

(1) 人間性・社会性に関すること

ア あなたが教職を志望した理由は何ですか。

イ 教職に就いたら、あなたが、特に力を入れて取り組みたいことは何ですか。

ウ 生徒や保護者、地域から信頼される教員とは、どのような教員だと、あなたは考えますか。

(2) 教員としての資質・能力に関すること

ア 授業中に座っていられず、立ち歩いてしまう生徒に対して、あなたはどのように対応しますか。

イ 「なぜ、きまりやルールを守る必要があるのですか」という、生徒からの質問にあなたはどのように答えますか。

ウ 「いじめ」を未然に防ぐために、あなたは日頃からどのような指導を行いますか。

2 教科等の専門性に係る質問

(1) 教科の知識に関すること

ア 「補色」について、説明してください。

イ 線遠近法と空気遠近法について説明してください。

(2) 教科の実践力に関すること

ア [共通事項]を位置付けた指導には、具体的にどのようなものが考えられますか。

イ 表現と鑑賞の指導の関連を図るための工夫を教えてください。

(3) 指導と評価に関すること

ア 授業で一人ひとりのよさを見取る評価方法にはどのようなものが考えられますか。

イ 自らの学習を調整しようとする姿は、どのような方法で見取ることができますか。

令和8年度採用（令和7年度実施）さいたま市立学校教員採用選考試験  
第2次試験 実技試験  
中学校・高等学校・中等教育学校教員 美術

【課 題】

作品の制作

「花」を、立体作品として自由に表現しなさい。

また、「花」に、各自が考えるモチーフを1種類以上加え、平面作品として自由に表現しなさい。

なお、以下の条件を守ること。

条件

<立体作品>

- 1 アイデアスケッチは配布された草案用紙を使用すること。
- 2 配布された粘土を2/3以上使用して制作し、着彩はしないこと。
- 3 配布された針金を使用してもよい。
- 4 へらは配布されたもののみ使用すること。
- 5 立体作品は、指定の板の上に置き、板も含めて作品とすること。
- 6 配布された立体作品票を制作時間内に記入し、立体作品の「前」に、記入部分が見やすいよう貼り付けること。

<平面作品>

- 1 配布されたイラストボードを使用して制作し、着彩をすること。
- 2 立体に使用するための粘土は使用しないこと。
- 3 配布された平面作品票を制作時間内に記入し、記入部分が見やすいように、イラストボードに添付すること。

- ・平面と立体の制作の順番は自由とする。
- ・制作時間は作品票の記入を含めて180分とする。
- ・制作時間終了後に作品の保管と片付けを行う。